

仙人通信 192 坪山(1103m)

坪山は上野原市の北、権現山と三頭山のほぼ中央にある単独峰で春には、ヒカゲツツジ・ミツバツツジ・イワウチワ・イワカガミが咲くことで有名な三等三角点の山である。

上野原と小菅村を結ぶ県道 18 号線の左側にある、県の施設のピリュウ(美流沢からの命名)園の駐車場に車を置き、園の横の登山道を登り、阿寺沢川からの登山道と合流した後、山頂を目指し、西尾根を御岳神社に下山し、県道 18 号を駐車場まで戻るコースとした。ピリュウ園には大きな水車で製粉するソバの食堂もあるも、水曜日である今日は、定休日であった。ピリュウ園の入口に坪山下山口の標識があり、ここからのスタートである。檜林の中の九十九折のコースであるが、足元ではカキドウシやヒトリシズカが見られる。15 分程で尾根となり、北側のみが落葉樹林帯となる。梢越してはあるが眼下に民家や県道が望める。15 分程で南面もミズナラ・ブナ・カエデ等の落葉樹となり、明るい尾根歩きとなる。更に 15 分で阿寺沢からのコースと合流し、右側の檜等の針葉樹林帯を進む。10 分程で最初のピークで、赤松や落葉樹の尾根道となる。権現山から東に伸びる尾根と並行して進む。この辺りからミツバツツジやアセビが目立つも花は見られない。コースは山頂に向かい高度が上がる反面、鞍部も深くなる。滑り易い尾根には、ロープが張られている。6 つ目のピークが過ぎたところからミツバツツジの青紫の花が目立つ様になる。阿寺沢のコースと合流してから丁度 1 時間で 7 つ目のピークで、坪山の山頂が望めた。更に 20 分で坪山山頂『9 つ目のピーク』である。滝子・雁の腹摺り・飛龍・雲取・三頭・大岳・三頭山から陣馬へ繋がる尾根・権現山そして白く化粧した富士山と 300° 以上の山脈の展望だ～。1 座 1 座に想い出を交えてしばし眺望を楽しみました。山頂では、ミツバツツジ・白い花のヒカゲツツジ・アセビの花も見ることが出来ました。下山には、東尾根と西尾根コースがあるが、岩尾根である東尾根は利用禁止であり、八っ田バス停のある西尾根コースとした。ヒカゲツツジの咲く尾根を 5 分程下るとロープの張られた岩の尾根となり、足元ではピンクのイワカガミが一面に咲き誇り、周囲ではヒカゲツツジやミツバツツジも迎えてくれた。そんなコースを 50 分程進むと檜の林に突入である。左手の下に鶴峠に向かう県道 18 号や長作部落を眺めながら 30 分を要して、御岳神社のある県道である。太陽のあたる地点では、チゴユリ・カキドウシ・ヒトリシズカ・フタリシズカ・クサノウ・ヤマブキ・オダマキ等春の野草が満開であった。ここから鶴川に沿ってピリュウ園まで県道に戻るコースである。鶴川とえば、1976 年に発生した山梨東部地震の震源地である鶴川破碎帯があることで有名である。清らかに瀬音を立てて流れる川を眺め、破碎帯の面影を探し求めたおまけ付の 4 時間 25 分(15000 歩)の山旅をすることができました。(R1.5. 8)

(ピリュウ園の水車



山頂



山頂からの富士山



イワカガミ

